

議会だより

第82号

発行 安曇野市議会
令和8年(2026年)
5月21日



田植え前の田園風景。安曇野市は令和8年度より世界農業遺産認定を目指します。

| | | | | | |
|-----------------|---|-----------------------|----|-------------|----|
| ・ 3月定例会の報告…………… | 2 | ・ 市政のここが聴きたい!一般質問 …… | 11 | ・ 市民の声…………… | 24 |
| ・ 令和8年度予算…………… | 4 | ・ 特集 政策提言に向けて …… | 22 | | |
| ・ 常任委員会報告…………… | 6 | ・ 議会だよりモニターアンケート結果 …… | 23 | | |

【白熱した議論が交わされました!】



3月定例会は、2月18日から3月19日まで開催され、報告3件、議案45件、議員提出議案3件を審議しました。主な議案と質疑、討論を紹介します。

- ・本市は平和都市宣言を掲げていることから、市議会として戦争の拡大に反対し、平和的解決を求めるといふ姿勢を示すこと自体に、大きな意義がある。
- ・先制攻撃は、国連憲章と国際法違反である。即時に攻撃を中止すべきという姿勢を示すべきだ。
- ・武力ではなく対話による問題解決を求め、平和を重んじる姿勢を子どもたちにも示したい。

賛成の意見
林 孝彦 中村芳朗
丸山健太 矢澤毅彦
吉澤茉帆 白井泰彦

反対の意見 大竹啓正 小林 浩

本件は、地方自治法第99条の趣旨を逸脱している。多国間の極めて専門的な外交安全保障問題に踏み込むもので、地方議会が判断し意見する領域を超越しており不適切。一地方議会が、特定の国を名指しして厳しく非難することは、外交上の客観性を欠く恐れがある。本意見書は、市民の中にある多様な知見や慎重な議論を十分に酌み取っているとは言えない。

議員提出第2号
アメリカ合衆国とイスラエル国によるイラン・イラム共和国に対する先制攻撃を厳しく非難し、即時中止を求める意見書

採択

- ・我が国は非核三原則を国是として、核兵器の廃絶を目指す平和国家の礎としてきた。時の政権の短慮で、非核三原則を見直すことは許されぬ。
- ・広島、長崎の惨禍を二度と繰り返さないという決意のもと、核兵器のない世界の実現に向けて粘り強く取り組んでいくことが、唯一の戦争被爆国として我が国に求められている責務である。
- ・核兵器廃絶の国際世論を強めることが、平和都市宣言を持つ安曇野市民の願いである。

賛成の意見
遠藤武文 林 孝彦
矢澤毅彦 白井泰彦

反対の意見 木船潤一

非核三原則については、理念として同意する。しかし、表明されてから50年以上経ち、日米関係や国際関係などに一定の変化がみられることから、日本の安全保障政策が、より柔軟性を持つための議論をうらひはすべきだと考える。非核三原則を表明している限り核は持たないで、そこはもう少し柔軟に幅を持たせて、国を守る、日本の安全保障を確かなものにする環境を作っていくべきだ。

議員提出第3号
非核三原則の堅持を求める意見書

採択

- ・日本を守ることにについて国民自身もつとめる必要がある。決して核を持つという意味ではないが核を抑止力とする国もある。

賛成の意見 中村今朝子 白井泰彦

反対の意見 木船潤一

市民生活に影響をおよぼす原油価格の高騰など、平和的解決に向けた外交努力をしっかりとやってほしい。

議員提出第2号
アメリカ合衆国とイスラエル国によるイラン・イラム共和国に対する先制攻撃を厳しく非難し、即時中止を求める意見書

採択

総務環境委員会における討論 (3/19)

人事案件について

- 議案第45号 人権擁護委員の推薦について
- 議案第46号 副市長の選任について
- 議案第47号 教育長の任命について

- 福田 紀久子さんを推薦することに同意しました。
- 渡辺 守さんを選任することに同意しました。
- 橋渡 勝也さんを任命することに同意しました。

賛成の意見 野部知江

子ども・子育て支援は、社会全体で支えるべきであり、広く負担を求めらることで、持続可能な制度であると考ええる。



反対の意見 菊池久美子

医療保険料は医療給付の財源を確保するもので、子育て支援分を上乗せして徴収することは誤りであると考ええる。

議員提出第4号
安曇野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

賛成多数で可決

問 令和8年度の保険料率算定の特例により、税制改正の所得段階の移動が生じる第1号被保険者について、令和8年度に限ったことなのか。令和9年度以降はどうなるのか。

答 今回の条例改正は、令和7年度税制改正に伴うものであり、令和8年度に限定して行う特別措置である。令和9年度以降は、介護保険料の収入段階と保険料率を定めていくことになる。

議員提出第43号
安曇野市介護保険条例の一部を改正する条例

賛成多数で可決

賛成の意見 増井裕壽 丸山健太

カルテ等の保存期間の延伸の必要性が高まり、医療データが十分な期間、安全確保される制度整備が不可欠である。

反対の意見 林 孝彦 丸山健太
矢澤毅彦 白井泰彦
増井裕壽

医療機関によっては、法定期間以上に保存されたことにより、給付金や障害年金請求につながった事例もある。

議員提出第1号
カルテ等医療記録の保存期間見直しと保存体制の整備を求める意見書

賛成多数で可決

反対の意見 辻谷洋一 遠藤武文
小林 浩

保存期間を見直す必要性について具体的な根拠や実例が示されていない。医療法等に基づきカルテの保存期間は5年だが、この制度により問題が生じているか明確な説明がない。

議員提出第1号
カルテ等医療記録の保存期間見直しと保存体制の整備を求める意見書

賛成多数で可決

賛成の意見 増井裕壽 丸山健太
菊池久美子

カルテ等の長期保存は医療情報の利活用による質の向上、システム化に必要であると考ええる。

反対の意見 野部知江 今井美智子

制度設計や影響範囲の整理が不十分、医療現場の負担や個人情報保護の課題、医療DXとの整合も不明確である。

議員提出第1号
カルテ等医療記録の保存期間見直しと保存体制の整備を求める意見書

賛成多数で採択

反対の意見 菊池久美子

医療給付の財源に子育て支援分を上乗せして徴収するのは、制度に反する。

議員提出第44号
安曇野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

賛成多数で可決

福祉教育委員会における討論 (3/19)

令和8年度予算を可決

(約481.8億円)

ピックアップ!新年度事業

・児童クラブ等の整備

約2億9,700万円

豊科南小、豊科北小、穂高南小の各児童クラブの設計工事、高家児童館改築に向けての基本設計等を行います。

・子どもの権利条例に関する取り組み

16万円

「安曇野市子どもの権利に関する条例」で定めた市の子どもの権利の日（11月20日）に合わせて、啓発・周知の為に講演会開催とリーフレットの作成をします。

・MTB コース管理費

約1,300万円

7月18日～20日にかけて、堀金にあるMTBコースで全日本自転車競技選手権大会が開催されます。その大会補助金。



・AZUMINO ロゴオブジェの設置

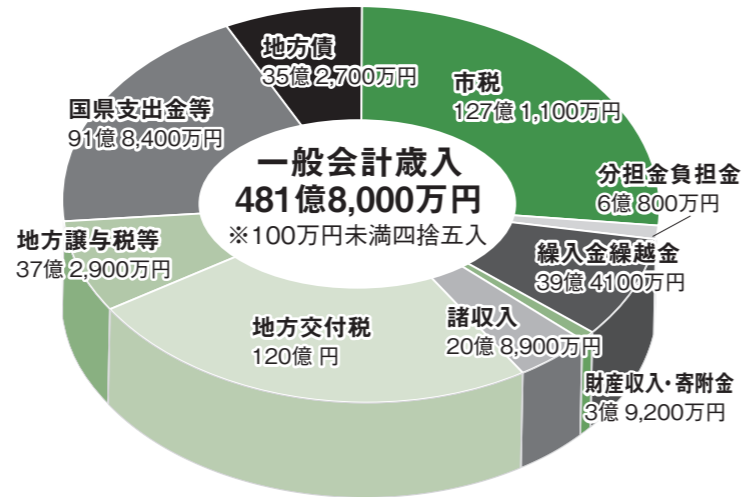
約560万円

豊科南部総合公園に設置予定。

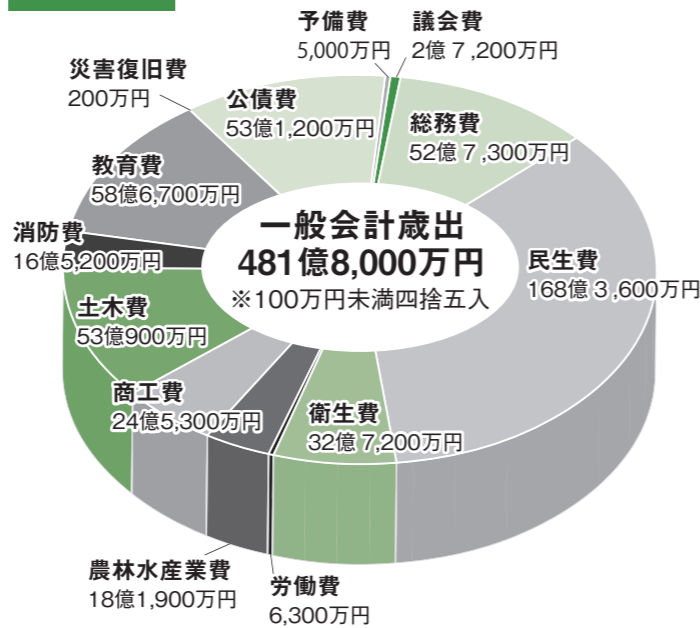


※設置イメージ図

歳入



歳出



※当初予算概要書より

前年度比約21億円減



令和8年度当初予算概要書
事業別予算概要説明書

議案第24号 令和8年度安曇野市一般会計 予算に対する討論

反対の意見

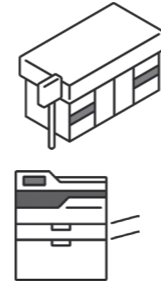
白井泰彦 遠藤武文

マイナカード交付促進と、保有者のみ住民票等のコンビニ手数料を100円減額する施策は、取得が任意の制度で差別的かつ不当。減収分は窓口体制強化に充てるべき。
観光3施設の基金残高を大幅に超える繰入を計上し、未確定な指定管理者納付金の積立を前提に財源を見込むのは、希望的観測で正確性・合理性を欠く。地方財政法の趣旨にも反し、補正での数字合わせは予算の法規性を形骸化させる。

賛成の意見

辻谷洋一 一志信一郎
小林 浩 高橋 健

少子高齢化で行政需要が増す中、デジタル化は効率化と利便性向上に不可欠。マイナカード活用やコンビニ交付手数料の減額で来庁の負担や窓口混雑、職員負担を軽減する。交付促進は国の方針に基づく事業で取得は任意。
観光3施設はコロナ禍から売上・利益が回復し、一部で納付再開が見込まれる。納付金は協定に基づく見込み計上で、減免も収益状況を踏まえ判断し、基金計上も適正。



議案第25号 令和8年度安曇野市国民健康保険 特別会計予算

反対の意見

菊池久美子

3月11日の福祉教育委員会では、内容と審査進行の理解が不十分のまま賛成してしまい、申し訳ない。改めて反対する。令和8年度から国民健康保険料、後期高齢者医療保険料に子ども・子育て支援金を上乗せするが、医療保険料は医療給付の財源であり目的外の負担増は筋違い。地域や加入保険による格差も広げるため、税制・歳出構造の見直しで財源確保すべき。

賛成の意見

矢澤毅彦 一志信一郎
増井裕壽

令和8年度から、こども未来戦略「加速化プラン」の財源として、全ての医療保険者が保険料と併せて子ども・子育て支援金を徴収する。医療給付の財源を流用するものではなく、少子化対策を社会全体で支える仕組みである。負担や制度の分かりにくさ、保険者・地域差への懸念は理解するが、低所得者軽減等も踏まえ、将来の地域社会と社会保障の持続可能性の観点から評価する。

全議案 全員賛成で 可決

令和8年安曇野市議会第1回臨時会（1月）



1月臨時会の本会議の録画映像

承認

●報告第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和7年度安曇野市一般会計補正予算（専決第2号））

・衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の選挙費 …… 6,500万円

原案可決

●議案第1号 令和7年度安曇野市一般会計補正予算（第6号） …… 6億5,300万円

～主な内容～

・太田寛前市長お別れの会 …… 450万円

・住民税非課税世帯・生活保護世帯エアコン設置促進事業 …… 5,277万円

・ささえあい商品券事業 …… 5億5,250万円

原案可決

●議案第2号 本陣等々力家再生・活用に係る契約について …… 9億8,945万円





常任委員会の録画配信は、各委員会ページに掲載の二次元コードからご覧いただけます→



常任委員会の録画配信は、各委員会ページに掲載の二次元コードからご覧いただけます→



問

小学校給食費の無償化によって、給食の質や食材内容に影響は出ないのか。

小学校給食費無償化について

答

18歳未満の児童だけでなく、障がい福祉サービスにつながる18歳以上の方も対象としている。訪問看護事業者などと連携しながら、家族の負担軽減につながる支援体制の整備を進めていく。

問

医療的ケア児在宅レスパイト事業について、18歳以上の医療的ケア者やその家族への支援はどのようになるのか。

医療的ケア児在宅レスパイト事業について

答

現在、市内の精神障がい者1級・2級の受給者約1000人を基に積算している。今回の制度拡充により、入院に係る経済的負担の軽減につながるよう取り組んでいく。

問

精神障がい者の入院医療費助成について、対象者数はどの程度見込んでいるのか。また制度拡充による影響は。

精神障がい者の入院医療費助成について

議案第24号

令和8年度一般会計
予算
(福祉教育委員会所管事項)



福祉教育

福祉教育委員会では、議案17件を審査しました。

総務環境

総務環境委員会では、議案9件を審査しました。

議案第24号
令和8年度一般会計
予算
(総務環境委員会所管事項)



賛成の意見

中村今朝子

マイナカードは個人情報情報を危険にさらし、カード情報など、あらゆるデータを集積。マイナカード取得者に対するコンビニでの交付手数料の減額は差別にあたる。

賛成の意見

白井泰彦

マイナンバー制度は国が進めている制度でコンビニ交付は窓口負担が軽減され、利便性が高く、持っている方の恩恵が多大で差別にはあたらない。

災害時対策用トイレカーの導入について

問

トイレカーの内容やけん引する方式について。

答

災害時避難場所等への移動式のトイレカーは、今回一台を導入。水の確保や汚物処理など長期間使用の問題を



トイレカーイメージ



トイレカーイメージ

問

区等に建物などを譲与するには、法人格が必要のため、認可地縁団体への移行を進めながら整理を図っていききたい。

答

本施設の建物譲与にあたり今後同じような市有財産を各地区に譲与する可能性があるか。

議案第37号
市有財産の処分について
(富田公民館建物の譲与)



富田公民館建物の譲与について

問

令和7年度の補助額が7万5,000円をどのくらい引き上げる予定か。

答

現在の一律補助額からキロワット当たり3万円とし上限20万円まで引き上げの予定。

太陽光発電の補助額増について

解決するため、排泄物をパック化し、可燃ごみ処理が可能な方式。他の車でけん引して運ぶ。

問

人間ドックの助成について、利用状況や今後の方向性はどのようになっているのか。

人間ドックについて

議案第25号

令和8年度国民健康
保険特別会計予算



人間ドックについて

学校給食法に基づき、栄養バランスの確保や、地産地消の推進、食材価格の高騰も踏まえ、給食費の増額改定などにより、子どもたちが安心して食べられる学校給食の提供を継続していく。



問

学校給食を利用していない児童への対応については、自治体の裁量でできる制度もある。国の制度の詳細を確認しながら、教育委員会検討していく。制度の趣旨も踏まえ、公平性の観点からの対応も重要である。今後、国の方針や制度内容を踏まえながら検討を進めていく。

答

不登校などで給食を利用していない児童の分について、市の補助金を還元できないか。

問

健康診断の受診は病気の早期発見・早期治療につながる重要な取り組み。市としても受診機会の確保や制度の周知を進め、健康づくりの推進に努めていく。生活習慣病の予防や健康寿命の延伸にもつながる取り組みであることから、引き続き受診率の向上を図っていく。市民が安心して健康管理に取り組めるよう、制度の周知や利用促進に努めていく。

答

健康診断の受診は病気の早期発見・早期治療につながる重要な取り組み。市としても受診機会の確保や制度の周知を進め、健康づくりの推進に努めていく。生活習慣病の予防や健康寿命の延伸にもつながる取り組みであることから、引き続き受診率の向上を図っていく。市民が安心して健康管理に取り組めるよう、制度の周知や利用促進に努めていく。

議案名や本会議での議決結果等 ↓ 4.9.10

トピック

災害用支援バンドナを配付



視覚・聴覚に障がいのある方などが避難時に支援を受けやすくするため、災害用支援バンドナを配付します。支所の防災倉庫にも配備し、緊急時の円滑な支援につなげます。



トピック

自治会スクールで地域コミュニティの活性化を

区役員の担い手育成の試みとして、ワークショップ型の「自治会スクール(仮称)」が新たに予算計上されました。

開始予定：令和8年度より明科地域からスタート。徐々に全市域へ。



東部アウトドアにぎわいのイメージ

問

過疎債を使う大きな目玉事業とは

答

過疎債活用事業で主な事業は、東部アウトドア拠点と松糸道路へのアクセス道路の整備。計画に示した基本目標の数値をもつて計画達成を判断する。

議案第38号
安曇野市過疎地域
持続的発展計画の変更
(令和8年度、令和12年度)



過疎債を使う大きな目玉事業とは

議案名や本会議での議決結果等 ↓ 4.9.10

全議案のうち賛否が分かれた議案等

Table with columns for 議案番号, 議員名, 議決日, 議決結果, and 議席番号 (1-22). It lists various council resolutions and the voting status of each member.



青藍会 辻谷 洋一

新市長が示す安曇野市政の継承と発展の道



問 市政運営において最も大切にして

いる価値観、政策の判断の基準は。また、価値観や基準は、事業の採否や予算配分に反映されるのか。

市長 市民の皆さんの声に耳を傾け、公正公平を基本とし、将来世代に責任を持てる持続可能な市政運営を行うことが大切にすべき価値観。

限られた人員や財源でどのように配分するか判断が重要。その判断、事業の採否は安曇野市総合計画が

拠り所。市民や地域事業者のための事業か、費用対効果、施策評価、事業実施を総合的に勘案する。

問 穂高駅前通りの空き店舗等へのチャレンジショップ制度の導入は。

※ 創業支援施策と連動する可能性があるため調査研究する。ただし民間のシェアオフィスや、間借り営業とのすみ分けも必要と考える。

問 地域通貨導入の考えは。

地域通貨は加盟店の確保、ポイント原資、持続可能な制度設計が課題。飛騨地域の「とるぼぼコイン」は、成功例として認識している。現時点では市での導入は検討していないが金融機関や商工会と意見交換し、事例研究を進める。

問 地域通貨導入の考えは。

地域通貨は加盟店の確保、ポイント原資、持続可能な制度設計が課題。飛騨地域の「とるぼぼコイン」は、成功例として認識している。現時点では市での導入は検討していないが金融機関や商工会と意見交換し、事例研究を進める。

市長 地域通貨は加盟店の確保、ポイント原資、持続可能な制度設計が課題。飛騨地域の「とるぼぼコイン」は、成功例として認識している。現時点では市での導入は検討していないが金融機関や商工会と意見交換し、事例研究を進める。

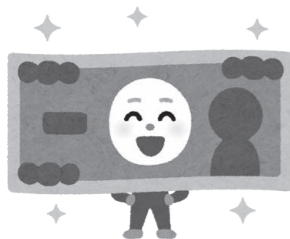
問 前市政からの継承点、見直す点は。

基本的には、前市長の方針を継承し成果を見極めて推進するが、社会情勢や市民ニーズの変化に応じて、必要な施策は見直しを行う。

市内の経済対策について

問 さええあい商品券のデジタル化は。

事業所の換金方法を電子申請とし、一部デジタル化をした。今後、事業実績を検証しデジタル化の検討



地域経済を回す新たな仕組み

○会派構成の変更に伴う、委員会等構成の変更

- ・議会運営委員会 (◎:委員長 ○:副委員長)
◎大竹 啓正 / ○辻谷 洋一 / 内川 集雄 / 林 孝彦
平林 明 / 白井 泰彦 / 木船 潤一 / 田口 貞夫

○会派構成(変更分のみ)

新しい会派が結成されました。(令和8年2月1日) (◎:会派長)
青藍会
◎大竹 啓正 / 辻谷 洋一 / 矢澤 毅彦
今井美智子 / 高橋 健 / 小林 浩

○広聴交流研究会が発足しました

意見交換の場の企画、立案等に向けて調査研究を行います。現在、市内高校生との意見交換の場づくりの研究をしています。(令和8年2月6日) (◎:会長 ○:副会長)
◎増井 裕壽 / ○野部 知江 / 中村今朝子
吉澤 茉帆 / 小林 浩 / 丸山 健太

※次ページからの一般質問の各議員の所属会派は、令和8年3月定例会における一般質問実施時点での会派名となっております。



会派 アヅミライ 一志 信一郎

「白井吉見とともに」



問 太田前市長は、常念校長佐藤嘉市(元堀金小学校校長)と白井吉見(同校での教え子)について、次のような言葉を残している。「」

堀金中学校の校歌は、作詞が白井吉見によるもので、げんげ田に白壁映えて 槍 穂高 常念ヶ岳、という歌詞です。常念岳はその麓、安曇野の人々に愛され、今も凛々とそびえております。」(一部抜粋)市長は、太田前市長の思いを胸に引き継いでいかれるが、白井吉見をはじめ、様々な文化芸術の分野で活躍する多くの人物を輩出したこの安曇野で、未来を担う子どもたちはどのように育ってほしいのか伺う。

問 白井吉見は校歌にどのような思いを込めたかと考えているか。また、それを踏まえた市の教育施策について伺う。

教長 堀金中学校の校歌は、白井吉見がふるさと安曇野に寄せる郷土愛と、新たな時代を築く若者たちに、理想を高く掲げて力強く羽ばたけと熱意に燃えてつくった大作である。引き続き各学校や園の特色を生かしながら、市が目指す子ども像に掲げる「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」たくましい安曇野の子どもを育んでいきたい。

市長 市では、子どもたちが夢を持ち、その夢を実現するために未来を拓く力を身につけることができるよう願い、施策を展開している。先人たちが引き継がれてきた地域の自然、人、そこに息づく文化や芸術に数多く触れ、感受性や創造性豊かな子どもを育んでいきたい。



白井吉見が毎週の全校朝礼で見た常念岳

※チャレンジショップ:創業希望者がお店を試験的に出せる場所・制度。「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」:白井吉見氏が中学生に行った講演会の中で語った言葉の一つ。第1次安曇野市教育振興基本計画の基本理念にも組み込まれている。

※ウッドスタート：産まれた赤ちゃんに木のおもちゃをプレゼントすること。



青藍会 高橋 健

意欲ある優秀な職員を確保育成する取り組み



問 急速に進展する少子化を背景に、民間企業や他自治体との人材獲得競争が激しさを増している。意欲ある優秀な職員を確保し育成していくためには、安曇野市役所がどのような人材を求め育成したいのかを、内外に明確に示さなくてはならない。そこで改定から10年が経過する「安曇野市人材育成方針」を、現在の行政ニーズに対応した育成方針に改定すべきではないか。

総務

長野県や近隣自治体では、窓口受付時間の短縮や試行的取り組みが進んでおり、本市においても、働き方改革を推進する観点から、現在検討している。

問

限りある予算や人的資源を有効活用するという点においても、窓口受付時間の短縮は有効な施策だ。DXや行政改革を推進するという観点からも検討すべきでは。

政策

令和7年度中には庁内で検討委員会を立ち上げ、実施時期や対象施設などを本格的に検討していく。

総務

改定に向け作業を進めている。働き方改革の推進や職員主体のキャリア形成支援といった視点を踏まえ、具体的方針を取りまとめた。

問

職員の働き方改革を進めていくためには、業務のスクラップ&ビルドのスクラップ（業務量の削減）の視点が特に重要だ。そこで一例として、窓口受付時間を短縮してはどうか。窓口業務の人員削減により、新たな課題解決や人にしかできない市民サービスに対して、人員を充てるのが可能となり、結果として市民サービスの向上が



市民サービスの向上は職員力の向上が不可欠



無所属 中村 今朝子

聴覚障がい者(児)等の支援拡充を



問 重度・高度難聴児の補聴器購入費の保護者負担は1割だが、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児の補聴器購入にかかる費用助成については、市が3分の2を助成し、3分の1が保護者負担となっている。補聴器を必要とする全ての子どもに平等に助成してほしいがどうか。

福祉

軽度・中等度の難聴児にとって、早期に適切な補聴器を使用することは、極めて重要である。個人負担の割合を10分の1にして、子育て世帯の負担軽減を図りたい。

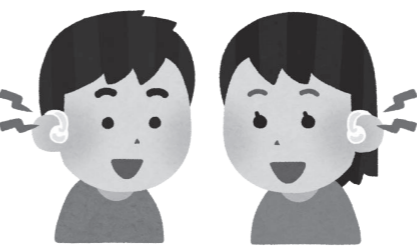
福祉

人工内耳の電池交換は、電池式なら数週間、充電式なら2〜3年が寿命で交換が必要となり、充電電池自体の費用は約2万円かかり、それが一生続く。電池代は保険適用外の場合が多く経済的負担となる。電池等消耗品の費用の助成を要望するがどうか。

問

人工内耳以外の対象品目にも、電池や充電器が必要な品目もあるが、助成対象になっていないため、平等に助成してほしいがどうか。

福祉



等性の観点からも整理していく必要がある。電池等の消耗品を助成対象とすることは、市の独自事業となることから、国・県・近隣市等の動向を注視し検討していく。

安曇野市におもちゃ美術館を

以前にウッドスタートを要望した。それと共におもちゃ美術館の設立を要望するがどうか。

農林

木育キャラバンやウッドスタートの取り組みを前に進めることで、木育の推進と機運の醸成を図りながら、実現の可能性を考えていく。



無所属 田口 貞夫

令和9年度の水田政策見直しに対する支援策



問 令和9年度、政府は農業生産の維持拡大を図るべく、5年間水張りルールの緩和を含め、全ての田畑のフル活用により、作物ごとの生産性向上を重視した支援策等水田活用の直接支払交付金を根本的に見直す方針。さらにスマート農業や農地集約による生産性向上の推進に対する方針について、本市として見解が必要。作付計画の変更は、前年から実行に入るため早急な方向性を示すべき。

問

携し実情に応じた支援の継続、拡充を進める。

市長

農業従事者確保における持続可能な本市の離農から転換する新たな出口戦略について。

市長

第3次農業・農村振興基本計画の「稼ぐ」「守る」「農と生きる」を施策の3本柱とし、機械導入による初期投資の軽減対策、令和7年度の地域計画等、各施策を横断的に活用、持続可能な農業を実現する。

問

工事、または製造請負等における随意契約の基準を明確に示すべき。市のホームページに随意契約ガイドラインを掲載する。

総務

農林

集落営農組織や認定農業者を対象に市独自の農業用機械や施設整備に対する補助制度を設けている。支援の見直しは、新たな農業施策に関わる国や県の動向を注視、連

問

農業用施設、機械等の導入支援を見直し、機械整備資金補助率向上や条件となる要求水準緩和は。



安曇野市の水田水張り状況



無所属 林 孝彦

福祉医療、高齢者と障がい者福祉の向上を



問 向上の目標と取り組みは。

市長

福祉医療に必要な給付。高齢者と障がい者の共生のまちづくり推進。令和8年度から精神障がい者の入院医療を給付対象にし、医療的ケア児等在宅レスパイト事業を創設。

問

福祉医療費給付事業の向上と精神障がい者の入院医療助成充実等を。

福祉

精神障がいによる受給者の全診療科への入院医療費を対象にする。

問

高齢者と障がい者見守りの充実を。地域見守り活動連携協定、民生児童委員、地域包括支援センターなどによる見守りや、緊急通報サービス、見守りシール交付など実施。

福祉

豊科老人福祉センターの改善を。施設譲渡を受けず社会福祉協議会と協議し、可能な修繕で維持する。

福祉

東部アウトドア拠点や新市立博物館や県住跡地等の公共施設整備は公共施設整備の目標と取り組みは。

市長

本陣等々力家の再生・活用事業や高家児童館の建て替え、新たに豊科南小等の児童クラブの整備も。



県営住宅の市有跡地活用の行方は？(豊科成相見岳町)

問

明科の東部アウトドア拠点整備は。今後は、基本計画案を作成する。

政策

新市立博物館構想の促進を。交流機能は可能。田淵行男の安曇野の自然の姿等の魅力発信は大事。

問

県営住宅の市有跡地の活用を。

総務

県から返還の話があれば検討する。豊科駅西等市内駅周辺整備を検討。

建設

部活動の地域展開の推進は地域展開の推進目標と取り組みは。

問

令和8年度末までにできるように。受け皿団体・地域指導者の確保、保護者の送迎・費用負担の軽減を。保護者関係者に情報発信に努める。

教長

保護者関係者に情報発信に努める。

★答弁者の表記★

市長→市長 職務代理者→代理 副市長→副市長 教育長→教長 危機管理監→危機 総務部長→総務 政策部長→政策 市民生活部長→生活 福祉部長→福祉 保健医療部長→保健 農林部長→農林 都市建設部長→建設 商工観光スポーツ部長→商工 上下水道部長→水道 教育部長→教部

※兼職兼業届：教師等が地域クラブ活動に従事する場合の届け。(地方公務員法第38条や教育公務員特例法第17条等の規定)



無所属 野部 知江

「部活動の地域展開」の今後の展望は



問 中学校の部活動の地域展開は、堀金地域を試行モデルに取り組んでいるが、現在の状況について伺う。

教部 令和3年度、市で唯一の総合型地域スポーツクラブがあった堀金地域で先行して取り組みを進めた。結果、堀金中学校は、全部活動の地域クラブ化ができた。他の中学校部活動の地域クラブ化は、学校や競技種目によって進捗が異なる。

問 部活動の地域コーディネーターの活動内容と成果について伺う。

教部 地域クラブの事務や校長会、部活動顧問会議の開催、相談や指導にあたる。教員OBが担当している。

問 指導者に資格所持を要件とするか。

教部 指導者資格所持を要件とはしていない。資質向上のための研修会への参加を必須条件としている。

問 教職員の地域クラブ指導について。地域クラブで指導する教職員は、自身の住む自治体の教育委員会へ

※兼職兼業届の提出が必要となる。現在21名の教職員指導者がいる。

問 指導者への謝礼支払いや、地域クラブの遠征費の支援について伺う。

教部 指導者に対する謝礼支払いや、遠征費などについても支援していく。

問 施設使用料の減免について伺う。

商工 一定条件を満たした安曇野市スポーツ協会加盟の団体には、引き続き使用料の全額減免をしていく。

問 令和8年度末、休日活動を地域クラブへ完全移行するための対策は。

教部 令和7年12月、国から新たなガイドラインが示され、これに合わせて取り組みを進めていく。

【その他の質問事項】

○豊科中心商店街の駐車場について



豊科公民館駐車場内にある石碑



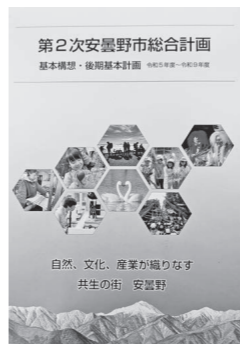
無所属 中村 芳朗

市長の市政運営・施策等について



問 令和5年度からの第2次安曇野市総合計画後期基本計画で将来ビジョンを「自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野」として、具現化する6つの目標を掲げた。議会冒頭のあいさつでは、「前市長が掲げてこられた政策をできる限り継承するとともに、社会情勢の変化等による新しい課題に取り組みながら、市政を進めてまいります」と述べられ、重点として安曇野ブランドの発信、フィルムコミッションに力をいれていきたい。また、住民福祉向上に向けて安曇野市の住みやすさを施策に反映していきたい」と述べられた。令和8年度、または今後4年間、特に力を入れていきたい施策・事業など市長に伺う。

減免を目指して準備を進めている。公約に掲げた事業はどれも重要だが、重点的に取り組む項目を挙げると、子育て支援や医療的ケア児の家族支援などの福祉関係。安曇野ブランド発信では、首都圏農産物PR事業「あずさマルシェ」など販路拡大事業。また、世界農業遺産認定やフィルムコミッションの機能強化は、関係者の協力を得ながら、時間はかかるが実現したい。令和8年度予算には、太田前市長の政策の継続事業等を予算計上した。まずは、それを着実に進め完成したい。



第2次安曇野市総合計画 後期基本計画



青藍会 大竹 啓正

市民生活基盤である 産業経済対策の方針



問 「希望の仕事がない」「待遇の良い仕事が見つからない」という地方の若者の声がある。本市においても、将来を託すべき若者が定着しきれない現状を危惧。将来的に希望を持てる雇用環境こそが、若者が定着できる根源である。本市の産業・経済の現状分析、若年層の流出と雇用環境との相関の認識、企業誘致、既存企業の支援等、質の高い産業育成の展望と決意を。

持続可能な安曇野市を目指す。
公共施設の維持管理の在り方
公共工事を取り巻く環境が厳しさを増す中で、財政負担の大きい公共施設の維持管理の方向方針は、限られた財源で将来へ過度な負担を残さぬ公共施設の総量や機能のあり方を見定めていく。

市長 本市の産業構造は、製造業をはじめとして地域の特性を生かした多様な分野で支えられている。若年層流出の原因は、希望職種や労務に見合う雇用機会の不足等の複合的要因と認識。若い世代が安曇野市で働く目標となる取り組みが重要と考え実施する。

市長 区からの脱退が目につく。行政からの区にとって重要なパートナー。可能な限り支援に努める。

商工

地域経済をけん引する新たな企業参入を目指した産業団地整備事業を進め企業誘致による質の高い産業の育成を図り、同時に生産性向上に資する設備投資、人材育成の補助により魅力ある雇用を創出し、



良い会社に入って、これから頑張るぞ！

問 安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想の中に、にぎわいゾーンの資源として、犀川、前川、万水川等がある。アウトドアレクリエーションの中のレジャーフィッシング(釣り等)は、魚がすむ豊かな自然そのものを楽しむユーザーの一面もあり、子供からお年寄りまで楽しんでいる。これらの点について見解を伺い、前川大

東部アウトドア拠点整備について

生活 今後、墓じまいといった関係が増えていくと考えている。無縁化を防ぐ具体策として、市民生活部に墓地相談窓口を設置し、地域住民や関係団体と連携して、地域課題の解消に向け、取り組んでいく。

問 家や家族で維持管理してきた墓地、墳墓が少子高齢化、核家族化に伴い、お墓を守る継承者(祭祀者)がなく、墓じまいや無縁墓(管理者不明)の荒廃墓が増える。無縁化防止に対する対策はどのような講じているか。

政策

規模改修に伴い、魚種生息環境についても併せて伺う。

犀川を中心としたレジャーフィッシングは、地域のアウトドア資源の一つとして捉えている。整備する拠点は、釣りも含めアウトドアに関する様々な情報を発信できるようにしたい。犀川漁協と連携をし、漁の解禁日や釣りのスポットなどの情報を提供していく。前川の改修工事については、構造物の脇に魚道を設け、魚巣ブロックを活用、木工沈床を補修し活用するなど、魚類や生物の生息環境、景観にも配慮した整備を進める。



継承者のいない墓地(無縁墓)

※木工沈床：杉や松の丸太を井桁状に組み、中に玉石や栗石を詰めて河床や護岸に沈める河川工法。

※SRHR…Sexual(性)、Reproductive(生殖)、Early(健康)、Rights(権利)の頭文字。すべての人が自分の体、性や出産について、十分な情報と必要なケア等につながり、自分の望むものを選んで決められる基本的な権利。



無所属 白井 泰彦

市民とともに平和推進のまちづくりを



問 戦争では人が死んだり、傷ついたりするだけでなく、若者を戦場や労働に送り出し、天皇の国のために命を捨てて戦い、働く若者を育て「戦争に勝つため」が暮らしや労働の隅々まで浸透し、逆らうことは許されず、我慢を強いられる生活があった。この認識の上に平和推進活動をしてもらいたい。

うことは困難である。

問 戦争遺跡、戦争に関わる場所に説明記念碑を設置してほしい。

明記念碑を設置してほしい。

問 安曇野の戦争時代を知るコーナーを博物館等につくってもらいたい。

安曇野の戦争時代を知るコーナーを博物館等につくってもらいたい。

問 コンパウト展示を行ってほしい。

コンパウト展示を行ってほしい。

市長 戦争の悲惨さを全て踏まえて、若者たちに伝えていけるように。

安曇野の戦争時代を知るコーナーを博物館等につくってもらいたい。

市長 戦没者追悼式は遺族会の意向で3年に1度開催している。平和のつどいは新しい方策で実施している。

山麓住民と共に維持管理に当たる市民の募集を検討しては。

市長 戦没者追悼式は遺族会の意向で3年に1度開催している。平和のつどいは新しい方策で実施している。

要望があれば、やぶ払い、枝払いをする除去班の募集を考えたい。

市長 他の自治体の事例を研究したい。

山麓住民と共に維持管理に当たる市民の募集を検討しては。

市長 80年前の戦争で亡くなった人、一人一人の名前を刻んだ刻銘碑を建ててもらいたい。

山麓住民と共に維持管理に当たる市民の募集を検討しては。

福祉 名簿がなく、今後も特定作業を行



有明演習場 入口東側にあった門柱脇の石垣と土塁



無所属 吉澤 茉帆

ジェンダー平等推進のための市役所づくり



問 ジェンダー平等に今後どのように取り組むか、重視することは。

取り組むか、重視することは。

市長 太田市政を継承する者として目指す方向に変わりなく、行動宣言もできるものは自分ができる手法で進める。性別役割分担意識を取り去るのが重要。女性だけでなく、社会全体の問題として一人一人の意識や考え方を変え、全ての人が未来に希望を持って歩める社会を目指す。オンライン父親学級や事業者向けセミナー、出前講座や広報誌等で、意識の醸成を図る。

令和2年0%、令和3年20%、令和4年35.3%、令和5年54.5%、令和6年対象者16人中11人68.8%。令和7年度育児時短勤務取得は、男性3人、女性22人。

問 SRHRについて、相談や啓発の充実はどう取り組むか。

SRHRについて、相談や啓発の充実はどう取り組むか。

問 審議会の委員と管理職の女性割合の推移、男性の育児休業取得率や時短勤務の現状は。

保健師は全市民が対象。男女問わず、性的マイノリティーに関する相談を受けたこともあり、健康に関することは相談してほしい。

政策 委員の女性割合は、令和3年78人中173人21.95%、令和7年1209人中334人27.63%と5.68%増えており、庁内周知等に努める。

保健師は全市民が対象。男女問わず、性的マイノリティーに関する相談を受けたこともあり、健康に関することは相談してほしい。

総務 女性管理職は令和7年4月1日時点の部長職12人中2人16.7%、課長職45人中10人22.2%。育児を1か月以上取得した男性職員は、

差別を禁止する先進的な条例と計画です



差別を禁止する先進的な条例と計画です



青藍会 今井 美智子

部活動地域展開と保護者負担の助成について



問 地域展開で送迎距離の変化と保護者負担の現状は。

検討は。

教部 一部のクラブでは中学校区をまたいだ活動拠点が設けられ、保護者送迎が行われている場合もある。

送迎に伴う保護者支援の具体的な検討には至っていないが、提案は課題の一つとして受け止める。地域クラブ会費については、国ガイドラインでも生活困窮世帯への支援検討が示されており、今後の課題として、検討していく考えである。

問 ガソリンの価格高騰による子育て世代の移動負担に与える影響はどのようになっているか。

送迎に伴う保護者支援の具体的な検討には至っていないが、提案は課題の一つとして受け止める。地域クラブ会費については、国ガイドラインでも生活困窮世帯への支援検討が示されており、今後の課題として、検討していく考えである。

問 ガソリンの価格高騰による子育て世代の移動負担に与える影響はどのようになっているか。

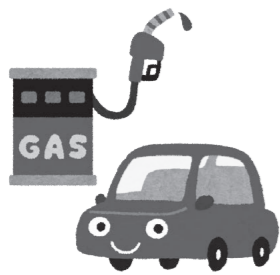
地域展開の進展を踏まえ、支援のあり方を引き続き検討する。

教部 ガソリン価格の高騰が子育て世代の移動負担に与える影響については、現状では把握していない。今後の課題にするかどうかについては、現時点では未定である。今後の地域展開の進み具合や社会情勢を踏まえながら、状況を注視していく必要がある。

送迎に伴う保護者支援の具体的な検討には至っていないが、提案は課題の一つとして受け止める。地域クラブ会費については、国ガイドラインでも生活困窮世帯への支援検討が示されており、今後の課題として、検討していく考えである。

問 地域展開に伴う移動コスト助成の

送迎に伴う保護者支援の具体的な検討には至っていないが、提案は課題の一つとして受け止める。地域クラブ会費については、国ガイドラインでも生活困窮世帯への支援検討が示されており、今後の課題として、検討していく考えである。



移動コストの助成を提案

家庭から出る衣類ゴミの減量について

安曇野市では、資源物として家庭から出された衣類・布類の処理を有償で事業者に委託しているが、再資源化等はなされているか。

問 安曇野市では、資源物として家庭から出された衣類・布類の処理を有償で事業者に委託しているが、再資源化等はなされているか。

安曇野市では、資源物として家庭から出された衣類・布類の処理を有償で事業者に委託しているが、再資源化等はなされているか。

生活 市としての取り組みは回収するまでとなるため、その後の状況は把握していない。

市としての取り組みは回収するまでとなるため、その後の状況は把握していない。



子育てはみんなで協力し合って

問 こども家庭庁の産後ケア事業ガイドラインでは、母親、乳児のほか父親・パートナーも支援の対象者としてあげられている。安曇野市においても、本人が希望し必要と認められるなら、父親あるいはパートナーも産後ケアを受けることができるか。

握っていない。

保健 市の産後ケア事業の対象者は、基本的に市内在住の母子となっている。しかし、母親と協力し合って育てる意識をもつことが重要という観点から、父親やパートナー等も支援が必要と認められる場合は産後ケア事業を利用できる。必要に応じて対応していく。

穂高有明の「サンクラブ安曇野」営業終了について

問 長年、幅広い市民から利用されてきた水泳施設「サンクラブ安曇野」が令和7年3月末で営業を終了する。市内には学校プール以外は公営・民営ともにプールがなくなってしまうが、市としてはどう受け止めているか。

長年、幅広い市民から利用されてきた水泳施設「サンクラブ安曇野」が令和7年3月末で営業を終了する。市内には学校プール以外は公営・民営ともにプールがなくなってしまうが、市としてはどう受け止めているか。

保健 市の産後ケア事業の対象者は、基本的に市内在住の母子となっている。しかし、母親と協力し合って育てる意識をもつことが重要という観点から、父親やパートナー等も支援が必要と認められる場合は産後ケア事業を利用できる。必要に応じて対応していく。

突然の営業終了は非常に残念。今後、市としてどのような取り組みができるか模索していきたい。

問 突然の営業終了は非常に残念。今後、市としてどのような取り組みができるか模索していきたい。

突然の営業終了は非常に残念。今後、市としてどのような取り組みができるか模索していきたい。

※各議員の二次元コードから質問の動画にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用には通信料がかかります。)



青藍会 矢澤 毅彦

未来に残す地域の記録 …磁気テープ問題から



問 市所有の映像資料の保管・保存、デジタル化の方針や進捗は。

教部 文書館では、VHSやカセットテープ、8ミリビデオ用テープなどを保存。令和5年度から業者委託によるデジタル化を進めており、5年度は41本、6年度は125本、7年度は193本を実施。

問 市民が保有する映像・音声資料の収集については、市の考えは。

教部 文書館条例では、個人や団体が所有する地域資料も収集対象である。安曇野地域の歴史や民俗などを伝える映像・音声資料について、収集を検討していきたい。

※ゲーム「桃太郎電鉄」の活用を

問 最新版には、「安曇野駅」が登場している。ゲームをきっかけとした地域への関心や発信の可能性についての認識は。

政策 ゲームの内容や特徴を踏まえると、鉄道沿線の魅力発信と誘客を目的としたコンテンツの一つとして活用が期待できると考える。現時点



で具体的な検討はないが、加盟する鉄道関連団体へ利用促進の提案の一案としたい。

問 教育現場用に特化した「教育版」が公式にリリースされている。その把握および導入状況について。

教部 桃太郎電鉄教育版は、市内小学校5校、中学校5校の計10校で導入している。社会科の地理分野の学習で、都道府県名や地理的特徴の理解などに役立てている。

【その他の質問事項】
○暮らしを支える軽度生活援助サービスについて



無所属 丸山 健太

市民主体の避難所運営 と被災者支援について



問 令和6年能登半島地震では、1週間から10日は、自主防災会や避難者自身による避難所運営、要配慮者支援が必要であることが顕在化した。本市の避難所運営マニュアルにおいても自主運営が原則だが、市民への啓発や訓練はどのように行っているか。また、訓練のモデル地域をつくる考えはあるか。

危機 避難所開設訓練や出前講座を通じ、避難者を中心となって運営を行う旨を伝えている。地域ごとに環境が異なるため、モデル地域の想定はないが、自主防災会からの要望に合わせ、地区公民館等で職員も一緒に実践的な訓練を今後も実施していきたい。

市長 市職員と避難者が協力して避難所を開設し、徐々に避難者が主体となるよう訓練等を通じて浸透させたい。災害関連死を減らすため、避難所運営の周知と要配慮者支援に継続して取り組む。

※注釈は、19ページに記載



石川県能登町 小木中学校避難所
長野県 DWAT 先遣隊の様子



会派 アツミライ 増井 裕壽

サンクラブ安曇野の 営業終了について



問 安曇野市内の民間スイミング施設「サンクラブ安曇野」が3月末で営業終了する。これまで、市営穂高プールやあづみ野ランドのプールも廃止されており、子どもたちが日常的に水泳に取り組める環境が急速に失われている。特に同施設は競技志向の子どもが専門的指導を受けられる貴重な拠点であり、存続を求める声もある。燃料費高騰や老朽化など民間の事情は理解するが、市として部活動の地域展開や子どもスポーツ振興を踏まえ、水泳環境をどのように確保していくのか。

商工 市営穂高プール廃止の代替として令和6年度にサンクラブ安曇野で夏季の一般開放事業を試験実施したが、44日間延べ121人と利用が少なく、継続は困難と判断し1年で終了した。今後は近隣施設との連携による水泳環境の確保を検討している。

【その他の質問事項】
○安曇野の観光戦略について
○猫と人の幸せのためのTNR活動について

問 「改正障害者差別解消法」の施行を受け、市内事業者への周知は。

福祉 広報あづみのみによる周知・啓発のほか、市内事業者には、商工会を通じて講演会等への参加を案内している。

地域共助の拠点と防災体制

問 農産物加工所の老朽化対策と、個別避難計画による共助体制の構築



※福祉避難所…災害時に一般の避難所での生活が困難な「要配慮者」のために、二次的に開設する避難所。
※個別避難計画…高齢者や障害のある方など、災害時に自力で避難することが難しい一人ひとりに対して、「誰が支援し」「どこへ避難するか」をあらかじめ決めておく計画のこと。



水の声 消えて子ら待つ 春の風

※かわりラボ：関係人口創出・拡大に向け、内閣府が設立したプラットフォーム。全国の中間支援組織、民間事業者、地方公共団体等が、学び合い交流している。
 ※ふるさとミライカレッジ：大学等高等教育機関と地方自治体が連携して取り組む総務省の地域課題解決プロジェクト。



無所属 遠藤 武文

住まなくても尊い安曇野 安曇野推し界隈の件



問 総合計画は随所で関係人口に言及しており、関係人口の施策をとっても重視。地域の課題解決によその手が必要だということに市民の理解が進まない、関係人口の拡大は見込めない。関係人口の施策をどのように市民に認知してもらい、理解度を高めていくのか。

市長 継続的に多様なつながりで関わる方を増やしていくことは必要。一方で、外部の方が地域に関わることに不安や戸惑いを感じる住民もいる。地域住民や事業者、団体等にも関係人口創出の担い手として参画いただき、受け入れ側としての理解を深めていくことが大切。関係人口創出の取り組みが地域にもたらす効果の情報発信や、関係する皆さんとの対話を重ねることによって理解促進に努めていく。

問 ラボへの入会を検討していく。ふるさとミライカレッジの採択を目指す考えはないか。

政策 ふるさとミライカレッジは学生と継続的な関係性を構築する機会として有効。学生ならではの斬新な発想や行動力により地域に新たな刺激や気づきをもたらす効果を期待できる。学生や大学側には地域活性化を通じた社会貢献の実践、解決能力の育成等の機会となり、双方にとって意義がある。効果的な形で活用できるように機を逃がすことなく対応していく。



「ふるさとミライカレッジ」で学生を関係人口化



無所属 木船 潤一

土葬を認める要件を もっと厳格にできないか



問 近年、日本における埋葬のあり方をめぐって各地で議論が生じている。市の場合、市営の墓地では埋葬は禁止、民間墓地では埋葬が可能ということになるのかと思うが、それで合っているか。

生活 市営霊園条例第5条において土葬は禁止しているものの、民間墓地については条例などの設置はしていないし、埋葬については把握していない。

生活 現在、厚生労働省は全国の自治体を対象に墓地経営の許可事務や国内における埋葬の実態についての調査を進めている。今後、国のガイドラインや法の動きに注意をしておいていきたい。

問 市営霊園において土葬を禁止しているのはなぜか。

市長 市営霊園では、市営霊園をはじめ民間墓地においても火葬による

問 豊かな地下水資源と自然、田園風景や山麓の景観、そして、それらに支えられた農業と暮らしを大きな魅力としてきている市で、土葬を含む埋蔵方法のあり方について、現状の整理と課題の検証を行い、将来的な制度改正を検討する可能性はあるか。



宮城県知事選では土葬墓地建設が争点になった

第13回安曇野市議会

予告

議会報告会

日時

令和8年7月18日(土)
午後6時～午後8時30分(予定)

会場

安曇野市役所4階
大会議室

内容

- 令和7年7月から令和8年6月までの議会活動
- 要望・意見交換



会場およびオンライン (Zoom) の同時開催で行います。当日は手話通訳・字幕表示が付きまします。お気軽にご参加ください。

詳細はこちらから！



政務活動費収支報告

令和7年度 政務活動費の実績内訳表(令和7年11月～令和8年1月)

(単位：円)

| 会派名 | 所属議員数 | 交付額 | 決算額 | 支出内容 | | | | 返金額 |
|--------|-------|---------|--------|-------|--------|--------------|--------|---------|
| | | | | 調査研究 | 研修 | 資料作成 資料購入 | 広報広聴等 | |
| 大竹 啓正 | 1 | 50,000 | 0 | | | | | 50,000 |
| 辻谷 洋一 | 1 | 50,000 | 34,280 | 1,280 | 33,000 | | | 15,720 |
| 矢澤 毅彦 | 1 | 50,000 | 26,303 | | | 6,303 | 20,000 | 23,697 |
| 今井 美智子 | 1 | 50,000 | 5,535 | | | 5,535 | | 44,465 |
| 高橋 健 | 1 | 50,000 | 0 | | | | | 50,000 |
| 小林 浩 | 1 | 50,000 | 1,260 | 1,260 | | | | 48,740 |
| 合計 | 6人 | 300,000 | 67,378 | 2,540 | 33,000 | 11,838 | 20,000 | 232,622 |

政務活動費は議員の調査研究や研修等のために必要な経費の一部として、会派または個人に対し、議員1人あたり年額12万円が交付されます。

令和7年度は議員改選により、令和7年11月から令和8年3月まで1人あたり5万円(5か月分)が交付されました。今回の収支報告は令和8年2月1日の会派(青藍会)発足に伴うものです。この他については通常通り年度末に精算を行い、次号報告します。

政務活動費の収支報告書および領収書等については、議会ホームページで公表しています。また、議会事務局でも閲覧できます。



議会ホームページへ

議会だよりモニターアンケート結果 (80、81号)

安曇野市議会 議会広報特別委員会

長野県安曇野市豊科 6000 番地

アンケートの評価は以下の点数に変換しました。

| | | | | |
|----|------|----|---------|------|
| 良い | まあよい | 普通 | あまり良くない | 良くない |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |



| | | | | |
|--|---------|-------|-----------|---------|
| 議員 | 会派 | 議会事務局 | モニターアンケート | 地図・アクセス |
| モニターアンケート総合 4.1 ★★★★★☆ (アンケート回答総数 26 件) | | | | |
| 表紙や見出し | 紙面構成と内容 | 特集ページ | 定例会ページ | |
| 4.1 | 4.1 | 4.1 | 3.8 | |
| 常任委員会 | 一般質問 | 市民の声 | すぐだせ | |
| 4.1 | 3.9 | 4.3 | 4.1 | |



表紙や見出しは？ 4.1 ★★★★★☆

赤ちゃんの足形は、これからの未来をしっかり歩んでほしいという願いがわかります。(80号) (三郷地域 70代)

議員さんの顔が大きく映っていて大変よいです。階段で写したのがよいし、後ろにあずみ〜ずが映っているのぼのしてよいです。さらに、議員さんの顔がリラックスしていて非常に珍しいよい出来の写真だと思えます。(81号) (豊科地域 60代)

紙面構成や内容は？ 4.1 ★★★★★☆

もっと見出しを大きくして、読む人がもっと見やすくした方がよいと思った。(80号) (豊科地域 10代)

よく見ると、見出しにいろいろな字体が使われていて、けっこう凝っていますね。例えば P6 の上から 3 行目のトナカイ？とか、P8 の 1 行目の雪だるまとか、愛嬌があってよい。(81号) (豊科地域 60代)

特集ページは？ 4.1 ★★★★★☆

ハラスメント、熊の出没対策について。地下水利用と販売について。とても気になる内容でした。(80号) (穂高地域 30代)

それぞれの顔ぶれがはっきり写っていて良い。委員会の活動内容が、読みやすい。(81号) (穂高地域 70代)

定例会ページは？ 3.8 ★★★★★☆

誰の発言か、できれば載せてほしい。ホテルのイラストが、実際は7階建てと聞いているので、7階にした方がよいのでは。3回継続審査で審査未了というのは、本来ない方がよいと思えますので、もっとそれなりの理由を書いていただかないと、がっかりします。(81号) (豊科地域 60代)

いつもより丁寧に作っている気がします。新人議員さんがどのようなお考えの方々なのか、ある程度わかってよかったです。(81号) (豊科地域 60代)

常任委員会ページは？ 4.1 ★★★★★☆

トピックの中身が楽しいです。特に 10 ページの記事はなかなかの工夫が感じられます。次は、ツキノワグマの出没！の情報を書くことになるのか。(80号) (明科地域 70代)

馬のとんでいる絵がカワイイ。P.10 トピックに絵(マツタケ)がかわいく目が止まり内容を読んでみようと思った。(81号) (穂高地域 70代)

一般質問ページは？ 3.9 ★★★★★☆

20 ページの右下文面及び写真は、議員間の白熱討論振りが目に見えるようです。good!! (80号) (明科地域 70代)

議員さん一般質問全員お願いします。12月定例会 22人中 17人です。議長も一般質問願います。副議長がいますから問題がないのはおかしいと思えます。年 4 回しかないのですから。ペナルティーをするべきと思えます。(81号) (穂高地域 70代)

市民の声ページは？ 4.3 ★★★★★☆

人とのつながりに支えられて、というタイトルがステキでした。田舎の良さを改めて再確認いたしました。(80号) (穂高地域 30代)

色合いがよく、目をひく。ワンパウンドらばるパレー、やってみたくと思った。(81号) (穂高地域 70代)

すぐだせ！議会だより 4.1 ★★★★★☆

バックの黄色で、目をひく。高校野球にたとえ、大変さが、良くわかった (80号) (穂高地域 60代)

新人が多いとのことなのでフレッシュな議論を期待します。(81号) (穂高地域 70代)

★その他 モニターさんの声

一般質問の P14 ~ P21 の 8 ページ分の左右の末端に※マークの言語説明が付記してあり、わかりやすい。(80号) (明科地域 70代)

まずは、新人議員さんが多い状態で、このようなしっかりした議会だよりが完成したことは素晴らしいと思えました。せっかくこのように労力をかけていただいているので、何かフレッシュなメンバーで、今までになかった画期的な内容が議会だよりに掲載するように、私もいい意見が言えたらいいなと思っております。(81号) (豊科地域 60代)

議会広報特別委員会からの返信

モニターアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます！表紙や紙面構成、市民の声ページなどに温かい評価をいただくとともに、見出しの大きさや内容の分かりやすさなど貴重なご意見も頂戴しました。いただいた声を大切に受け止め、より読みやすく、議会の活動や議論が市民の皆さんにしっかり伝わる広報誌づくりに努めてまいります！

掲載にあたり、一部表現を改めております。

政策提言に向けて

安曇野市議会の政策提言とは…

「安曇野市議会基本条例」(第 12 条 政策立案、政策提案及び政策提言)に基づき、総務環境委員会、福祉教育委員会、経済建設委員会の 3 つの常任委員会ごとにテーマを決め、1 ~ 2 年かけて市政の重要課題を調査・研究し、具体的な解決策を市長へ公式に提案する仕組みです。全議員一致を原則とした実効性の高い提案を通じて、議会が行政へ影響力を行使する重要な活動です。



今回は令和 8 年 2 月末時点での中間報告をさせていただきます。

総務環境委員会

テーマ決定！ 投票しやすい環境づくり



選挙の投票率向上には多角的なアプローチが不可欠です。今回の政策提言では、まずは投票所の投票環境を向上させることを軸に、先行自治体の事例研究を行います。

加えて、主権者教育の切り口からも取り組みを模索する予定です。

福祉教育委員会

検討中！ メンタルケアの促進



現代社会において特に必要性を感じる「メンタルケア」を取り上げ、実際にどのような政策提言とするか、研究に取りかかります。委員会では不登校児を抱える保護者、障がい者支援や、介護を必要とする方の家族など。様々な分野から検討しています。

経済建設委員会

検討中！ テーマ案続々



各委員から政策提言案を提出して、内容説明を行った段階です。「ロケ支援の強化等観光振興(ちょうじゅう)」「鳥獣被害(クマ)対策の強化」「環境保全の向上」「第 82 回国民スポーツ大会等を見据えたスポーツ施策」「空き店舗を活用した中心市街地の活性化」「新たな農業『産業用大麻(たいま)』の栽培」等、提案された幅広い分野からテーマを絞り込みます。



「議員としての心構えと議会の仕組み」

講師 株式会社廣瀬行政研究所 廣瀬和彦氏

日程 令和 7 年 11 月 11 日(火)

場所 全員協議会室

内容 議会は住民自治の基盤であり合議制の住民代表機関として、地域・住民の多様な意見を反映し合議形成を進める重要な役割であること。また近年、地方自治体で問題となった議員の議会政治倫理違反に対する辞職勧告問題や私有地への公費工事で調査委員会による報告書が提出された問題、SNS による侵害行為など事例を用いて、もし自分が当事者だったらどう対応するかを考える「ケースメソッド」の研修を受講し、議員のあるべき姿を学んだ。

議員研修報告

市民の The Voice 声



たかだ まいさん
高田 舞さん
(穂高)

地域の温かさに触れて感じる、安曇野の日常

数年前に

ご縁があり安曇野市に移住してきて以来、この地の美しい景観だけでなく、人々の温かさに触れる毎日を過ごしています。日々の暮らしや子育て、地域行事などを通じて、様々な年代やコミュニティの方々と交流する中で、移住前には想像できなかった多くの気づきがありました。

特に

印象的なのは、季節の仕事を大切にしている丁寧な暮らしと、地域全体で子どもを見守る温かな土壌があることです。私のような移住者も皆さんが心温かく迎え入れてくださり、心が和みます。こうした素晴らしい環境や地域のつながりが、多くの方々の思いや努力によって守られてきたことを、日々しみじみと感じています。日々の生活に追われ、「市議会」という存在をどこか遠いもの感じていました。しかし、地域の方々とお話をすることで、私たちの暮らしを支える道路の整備や福祉、教育といっ

た身近な課題が議会での議論を経て形作られていることを改めて認識しました。

市議会の

皆様には、安曇野の「一人の温かさ」や「豊かな自然」という宝物を次世代につなげていくため、多様な世代や立場の市民の声に耳を傾けていただきたいと願っています。また、その魅力を積極的に発信することで、安曇野に足を運ぶ方がさらに増えることを期待しています。

私自身も

この街の一員として、『議会だより』などを通じて市政への関心を深め、微力ながら地域社会に貢献していきたいと考えています。



世代を超えた仲間と楽しく取り組むお米作り

議会からのお知らせ

公職選挙法に基づき、議員の寄附の禁止を徹底します

地域行事、祭りなどへの寄附や差し入れ、開店祝いや葬儀の花輪、病氣見舞い（親族以外）、中元、歳暮、入学・卒業祝い、代理出席の場合の結婚祝い・香典など、議員が寄附することは禁止です。

『寄附 しない、させない、求めない』

市議会6月定例会のお知らせ (予定)

議会を聴きに行こう！議会を「あづみ野テレビ」・議会ホームページ「インターネット中継」で見よう！
傍聴希望の方は、市議会議場（市役所本庁舎3階）へお越しください。お子さまと一緒に傍聴いただけます。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|-------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|------------------------------|----|
| | 6/1 | 2 | 3 | 4 議会運営委員会 | 5 全員協議会 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 本会議 (開会日) | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 本会議 (一般質問) | 18 本会議 (一般質問) | 19 本会議 (一般質問 質疑・付託) | 20 |
| 21 | 22 常任委員会 (総務環境) | 23 常任委員会 (福祉教育) | 24 常任委員会 (経済建設) | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 議会運営委員会 ・全員協議会 | 30 本会議 (開会日) | 7/1 | 2 | 3 | 4 |

請願・陳情は随時受け付けています。定例会ごとの締め切りは、開会日の10日前です。(土日・祝日はなし) 開会時間は本会議 10:00～・常任委員会 10:00～です。日程や開会時間など変更となる場合があります。

すくませ！議会だより

最近、地域猫保護活動に取り組んでいます。農業用ハウスで多くの野良猫と向き合い、命の時間の不平等を実感しました。野良猫の平均寿命は3年、家猫は15年。その差は、人の関わり方が生み出しているものだと感じています。だからこそ、猫と人の双方の幸せのために行われるTNR活動には大きな意味があります。地域猫活動は単なる保護ではなく、命との関係を引き受けることです。すべてを救えなくても、一匹への向き合い方が社会を映します。共に生きるとは何かを問い続けながら、互いの存在を認め合える社会を目指していきたいと思っています。

議会広報特別委員会副委員長
増井 裕壽

議会広報特別委員会

- 委員長 矢澤毅彦 副委員長 増井裕壽
委員 丸山健太 菊池久美子 田口貞夫 高橋 健
今井美智子 木船潤一 野部知江 中村芳朗